

中 村 哲 氏 の 志

アフガニスタンで、2019年12月4日、医療施設拡充や灌漑事業等に尽力された中村哲氏が、犠牲になってしまいました。

「そこに住んでいる人たちと良い信頼関係があること。これが、武器よりも一番大切なことだと思うんですね。」の言葉を残されて。

中村氏には、平成19年11月22日に犬山中学校で、講演をお願いしました。

日本に帰国されることを知り、福岡の事務所をお願いに行ったことを、鮮明に覚えています。

「平和と子どもの命」

—誰もが行きたくないところに行き 誰もやりたくないことをする—
この犬山中学校での講演会の一部を紹介します。

「私たちは、病気のほとんどがきれいな飲み水と十分な食べ物、この二つがありさえすれば、病気の九割以上が発生しないということを知って、とにかくきれいな飲み水だと、残った村人達を集めまして、乾いた井戸を再生する活動をはじめました。」

「平和というのは、決して武力によって得られるものではない。水と緑によって、少なくともアフガニスタンにおいては、水と緑によって人々の気持ちも平和になり、人々が何よりもそこで、命を保つようにすることで平和が保たれる。」

静かな語りの中に、確実に困難を打ち砕き、かつ何かを築いてゆく者でありたいとの凜とした信念が、伝わってきました。

講演を真剣に受け止めていた中学生も、今年 二十代後半になっています。

私たちに出来ることは何か。

2019. 12. 5

奥 村 英 俊